

予算審査特別委員会での審査状況

平成22年度予算

一般・特別・企業会計

総額 **574億8,548万円**



平成22年度一般会計及び各特別会計並びに各企業会計予算を審査する特別委員会（議員全員で構成）は、3月15日・16日の2日間にわたり開催され、市当局と議員との質疑応答を経て、いずれも原案どおり可決されました。

一般会計・歳出の主な内容

1. 人と自然が共生する 「しぜん感動・創造都市」

- 十和田湖の環境保全及び景観対策の推進等…………… 1,600万円
- 道路整備事業…………… 9億7,098万円
- 公共下水道整備事業…………… 8億3,732万円

2. 豊かな心をはぐくむ 「こころ感動・創造都市」

- 四和地区統合小中学校建設事業…………… 1億2,678万円
- 法興小学校屋内運動場建設事業…………… 3億3,809万円
- 教育相談事業…………… 1,656万円

3. 安心・安全を支える 「くらし感動・創造都市」

- セーフコミュニティ推進事業…………… 1,448万円
- 青森県防災情報ネットワーク整備事業…………… 1,197万円
- 地上デジタル放送難視聴対策補助…………… 4,300万円

4. にぎわいと活力あふれる 「しごと感動・創造都市」

- (仮称)十和田市観光駐車場整備事業…………… 1億4,854万円
- ふるさと雇用再生特別事業…………… 1億4,412万円
- 中心市街地活性化事業…………… 2億4,249万円

5. いきいきと活躍できる 「しみん感動・創造都市」

- 自治基本条例制定…………… 314万円
- 友好都市等交流事業…………… 410万円

6. 行財政改革及び広域行政の推進など

- 行政経営会議の設置…………… 300万円
- 本庁舎電話交換システム更新事業…………… 1,426万円
- 平成22年度に予定される選挙事務費…………… 1億2,518万円

討 論

定例会の最終日において平成二十二年一般会計予算に対して討論がありました。(要旨)

反 対

これまでの一般質問などで、政府の国民いじめの医療政策や福祉政策などに対して国に必要な意見を述べるよう市長に訴えてきた。例えば後期高齢者医療制度は直ちに止めて、元の老人医療制度に戻すべきではないか。また、介護療養病床の廃止問題などもしかりである。さらに、介護保険問題は国の負担を二分の一分から四分の一に引き下げたことが保険料値上がりの根本原因であり、その中で本市の保険料が日本一高いものになってしまった。今のままでは特に所得の低い層が大変である。保険料を低く抑えるためには思い切った一般会計からの繰出しなども考える必要がある。今回の予算審議の中で明らかにした保育所運営についても、とても賛成できるもの

ではない。職員の送迎までして運営することは理解に苦しむ。従来の運営を続けるほうが市民の理解を得られるものと思う。以上の理由により予算案に反対するものである。

賛 成



予算委員会で答弁する小山田市長

世界的な景気低迷の影響による厳しい社会経済情勢は本市の経済、雇用情勢においても市民に大きな影響を与えている。このような状況にある時こそ、本市の基幹産業である農業を始め、商工業、観光産業を支援し、将来に向けての産業基盤の整備、充実を進めることが

本市の経済の活性化を促し、ひいてはそれが市民の暮らしを守り、安全、安心を提供することにつながるものと考えている。施策の選択と集中により経費全般について徹底した節減と合理化を図り健全な財政運営を目指しながら、「感動・創造都市」の実現を基本とした、本市が取り組むべき主要施策が盛り込まれている。第一次十和田市総合計画の基本構想に掲げる基本目標の五つの柱に沿って、休屋地区の景観対策、環境保全及び観光振興の推進に関する事業、四和地区統合小中学校建設に係る実施設計、防災メール配信システム整備事業を始めとしたセーフコミュニティに関連した各種推進事業、中心市街地活性化基本計画における各種事業への支援、自治基本条例制定の取り組み、行政経営会議の設置、市民参画による協働のまちづくりのための施策等を講じている。このように本予算案は厳しい財政状況にありながら本市発展のため、バランスのとれた予算案であると高く評価する。以上の理由により予算案に賛成するものである。